

第3回「メタファーの学、発想の土木工事」

ことばの「喩える力」は、私たちの発想を支える「縁の下の力持ち」です。メタファーが変われば世界の見方も変わります。哲学者たちのことばを眺めても、土台や鏡、広場や時計など、さまざまな比喩が変幻自在に登場します。メタファーの力によって、ふわふわした抽象概念は、具体的なイメージのかたちを持つのです。今回は「断片／破碎」という比喩から出発し、アイデアの系譜に遊山してみたいと思います。ことば遊びビギナーからマスターまで、みなさんの参加をお待ちしています。

第4回「アイデアの栄枯盛衰、ことばの磁場」

概念や表現にも鮮度があります。ある時代でパワーを持った「ことば」が、数年後には無力になったり、別の意味を持って復活したりと、まるで舞台上のドラマの如し。その生々流転を理解するため、「系譜学」なる方法を活用してみます。その俎上に載せるのは、例えば「遊び」や「お喋り」、「孤独」、「精神」といったキーワードです。アイデアの解剖と実験に、皆様ぜひお立ち会いください。

第3回：12月20日（水） 来往舎中会議室（日吉）

第4回：12月26日（火） 来往舎小会議室（日吉）

両日ともに 17時00分～18時30分

対象：塾生・教職員（予約不要・途中入退室可）

参加者各自が、発想や書籍を持参して喋り合う「持ち寄り型」読書会になります。何か気になるものがあれば、それを片手にご来場ください。手ぶらでの参加も歓迎します。学部1・2年生だけでなく、三田や湘南藤沢キャンパスの学生、教員の参加もあるのが本会の特徴です。

担当：若澤佑典（文学部助教・英語）